

2027年度 学 生 募 集 要 項

(学校推薦型選抜)

現代システム科学域 経済学部 商学部

理学部 工学部 農学部 獣医学部

医学部 看護学部 生活科学部



本学の入学試験は、学部・学域等によって選抜方法が異なりますので、記載内容を熟読して、出願手続、受験等について間違いのないよう注意してください。

学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合は以下の Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2026年7月
大阪公立大学

目 次

大阪公立大学の3つのポリシー.....	1
〔1〕募集人員.....	11
〔2〕入学者選抜方法等	
1 選抜方法等.....	12
2 可否判定について.....	12
〔3〕選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）.....	13
〔4〕出願手続	
1 出願期間.....	15
2 出願方法.....	15
3 受験票・受験上の注意の印刷.....	16
4 入学検定料等の支払方法.....	16
5 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続.....	17
6 出願についての注意.....	17
〔5〕受験上・修学上の配慮について	
1 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等.....	19
2 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等.....	19
〔6〕学部・学域等の選抜方法等.....	20
現代システム科学域.....	21
経済学部.....	24
商学部.....	26
理学部.....	28
工学部.....	33
農学部.....	38
獣医学部.....	40
医学部リハビリテーション学科.....	42
看護学部.....	44
生活科学部.....	45
教科・科目名の表記及び注意事項等について（特別選抜）.....	48
〔7〕合格者発表	
1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）.....	50
2 第2次選考・最終選考合格者発表について.....	51
3 合格通知書及び入学手続案内.....	52
〔8〕入学手続	
1 入学手続について.....	52
2 入学許可の取消し.....	53
〔9〕学費（入学金・授業料等）	
1 入学金.....	54
2 授業料.....	54
3 その他.....	54
〔10〕経済支援制度について.....	55
〔11〕個人情報の取扱いについて	
1 個人情報の定義.....	55
2 個人情報の利用.....	55
〔12〕その他	
1 個人別成績の情報提供について.....	56
2 過去問題について.....	56
3 注意事項.....	56
交通アクセス.....	57
問合せ先・各キャンパス窓口.....	58
郵送先.....	59

※本要項における「個別学力検査」とは、本学が実施する教科・科目に係る個別テストを指します。

大阪公立大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的・総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的・発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

また大阪公立大学は、学生の学修成果を適切に把握するため、教育推進本部が定める「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針」のもと、基幹教育科目と専門教育科目をそれぞれ提供する国際基幹教育機構と各学部（学域）においてアセスメントポリシーとアセスメントリストを定め、複数の評価指標・方法を用いて定期的に学修成果の評価を行う。また、国際基幹教育機構と各学部（学域）において、科目の到達目標の達成状況を基準にした成績評価ガイドラインを定め、各科目における成績評価を実施する。科目の到達目標および評価方法・評価基準はシラバスに明記する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

現代システム科学域

求める学生像

現代社会においては、環境問題、社会・福祉問題、心理的問題が複雑に絡み合い、社会の持続可能性が強く求められる状況においては、これらの複雑な問題を解決し、持続可能な社会を実現するという高い志を持った人材の育成が求められている。本学域では、複数の学問分野を融合的に学びつつPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、多様な人々と協働して学ぶことができる人材（主体性・多様性・協働性）を養成することを目指す。

したがって、本学域では、次のような学生を求めている。

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎的な知識・技能を有している人
- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
- 4 多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有している人

知識情報システム学類

現代システム科学域で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて知識情報システム学類では次のような人材を養成する。

情報学およびその応用分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、現代社会におけるさまざまな課題を解決するために情報システム開発・活用することができる人。

環境社会システム学類

現代システム科学域で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて環境社会システム学類では次のような人材を養成する。

自然科学、人文・社会科学、人間科学の融合領域を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、自然環境、社会環境、環境哲学・政策の課題を総合的に解決できる人。

教育福祉学類

現代システム科学域で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて教育福祉学類では次のような人材を養成する。

社会福祉学、保育学、教育学、ジェンダー研究及びその関連分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、教育福祉に関わるさまざまな課題を総合的に解決し、すべての人が幸せに暮らせる社会づくりに貢献できる人。

心理学類

現代システム科学域で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて心理学類では、次のような人材を養成する。

実験心理学と臨床心理学を統合的に学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、ヒトの心理的問題を解決できる人。

入学者選抜の基本方針

上記の評価方法は以下のとおりである。

【学校推薦型選抜】

知識情報システム学類

- （知識・技能）大学入学共通テスト、調査書を用いて評価する。
- （思考力・判断力・表現力）大学入学共通テストを用いて評価する。
- （主体性・多様性・協働性）推薦書、志望理由書を用いて評価する。

環境社会システム学類／教育福祉学類

- （知識・技能）調査書、個別学力検査等を用いて評価する。
- （思考力・判断力・表現力）個別学力検査等、面接を用いて評価する。
- （主体性・多様性・協働性）面接、推薦書、志望理由書を用いて評価する。

心理学類

- （知識・技能）大学入学共通テスト、調査書を用いて評価する。
- （思考力・判断力・表現力）大学入学共通テスト、面接を用いて評価する。
- （主体性・多様性・協働性）面接、推薦書、志望理由書を用いて評価する。

経済学部

求める学生像

本学部は、「経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人」を育てるという教育目標にもとづき、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学修し、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者との意思疎通や共同の事業に取り組むことのできる人を受け入れる。

入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストにより、高等学校教育段階においてめざす基礎学力と経済学部での学修に十分に対応できる能力とを確認し、調査書、出身学校長による推薦書および活動報告書の内容とあわせて学力の3要素を総合的に評価する。

商学部

求める学生像

商学部では、商学部での学びに必要な基本的な知識と能力、外国語能力を身につけ、企業や社会について旺盛な探求心と世界的視野と批判的精神を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展と持続可能な社会の実現に積極的に貢献しようとする意欲と能力があり、人間性と将来性が豊かな学生を求めている。

また、商学部の掲げる人材養成の方針を理解し、自分の将来に活かす努力を惜しまない学生を求めている。

商学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて商学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業が抱える経営並びに国際経営上の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・金融・流通の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・社会における会計の役割に関心を持っている人

公共経営学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて公共経営学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業や経済の地域性や社会性に関心を持っている人
- ・地方公共団体などの公的機関や非営利組織の仕組みや役割に関心を持っている人

入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストによって高等学校教育段階においてめざす知識・技能、商学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認し、調査書、出身学校長の推薦書および活動報告書によって主体性・多様性・協働性を確認して、総合的に評価をおこなう。

理学部

求める学生像

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を目指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

- 1 数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

物理学科

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人

- 3 国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

化学科

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を実践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
- 2 化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
- 3 化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
- 4 他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
- 5 科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

生物学科

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し、それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
- 6 自らの考えを人に伝える能力を持つ人

地球学科

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

生物化学科

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。小論文または／そして口述試験、出願書類により、論理的思考力・判断力・表現力を評価するとともに、理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

機械工学科

持続的発展が可能な社会を構築していくことが求められる中で、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が必要不可欠となっている。そのために機械工学科では、機械工学を中心とした幅広い知識、技能と、豊かな人間性、倫理観を持ち、大阪から地球規模までの機械工学における重要な課題を、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、主体的に克服・解決法を発想し、実践する人材を育成することを目標とする。

したがって、機械工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 機械工学の幅広い技術・学術に強い関心があり、社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持つ人
- 2 機械工学に関する専門知識と技術、論理的な思考力、豊かな創造力の獲得を目指し、勉学意欲を持つ人
- 3 機械工学に関する専門知識と技術をもとに、国際的な視野で豊かな社会の構築に貢献する意欲を持つ人
- 4 高い倫理観を持ち、機械工学に関する専門知識と技術を利用して、社会の諸問題の解決に意欲的に取り組む人

電子物理工学科

グローバル社会の持続可能な発展には、情報通信、エネルギー、交通等、多様な技術分野の進歩が不可欠である。これらに共通する基盤技術である、電子デバイスのさらなる高度化・高機能化、新規創成が様々な産業分野において求められている。そのような要求に応えるには、確固たる物理的基礎に立脚した電子技術に基づく、より独創的な発想が必要である。電子物理工学科は、このような社会的要請に応えるために、従来の電子工学の範疇を超える、電子材料、電子物性に力点を置いた教育を行うことで、幅広い物理的視野と電子技術の素養をもち、高い創造性を発揮できる人材を育成することを目標とする。

したがって、電子物理工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求める。

- 1 物理学や電気・電子工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、それを幅広い工学に応用することで社会の発展に貢献する意欲をもつ人
- 2 論理的な思考力と豊かな想像力の獲得を目指し、勉学意欲に溢れる人
- 3 物質がもつ電気、磁気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学修・研究する意欲に溢れる人
- 4 外国語能力に優れ、国際的視野をもって新たな課題を見出し、その解決に積極的に挑戦する意欲をもつ人
- 5 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

応用化学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい化学物質を創出していくことが必要である。そのために応用化学科では、物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルから理解することを通して、基礎から最先端までの幅広い視野に立って化学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、グローバルな視野を併せ持ち、技術革新にも適応することができる化学技術者・研究者を育てることを目標としている。

したがって、応用化学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。

- 1 化学の基礎と応用について強い関心があり、持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 新しい物質や化学技術を創造するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 化学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって地球環境に調和した豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、化学技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

マテリアル工学科

現代の文明を象徴する様々な機器は、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されている。すなわち、時代の進歩には新しい材料の設計と開発が求められている。マテリアル工学科では、豊かな社会を築くため、最先端の材料に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、マテリアル工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 科学・技術の基盤であるマテリアル工学に強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することを目指す人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学ぶ。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することを目指す。そのため、本学科ではいずれの選抜方法においても、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人を求める。

- 1 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
- 2 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
- 3 実験や自然観察が好きな人
- 4 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高める意欲を有する人
- 5 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観をもって行動できる人

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

【学校推薦型選抜】

機械工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、機械工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、工学の学修・研究に必要な数学、理科（物理・化学）、英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、工学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有していることを、調査書、志望理由書、推薦書、小論文、口述試験・面接、大学入学共通テストにより総合的に評価する。

電子物理工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、電子物理工学科に必要な素質を有していること、工学の学修・研究に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」「関心・意欲」を有していることを、大学入学共通テスト、小論文、口述試験・面接、出願書類等により総合的に評価する。

応用化学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、応用化学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、調査書、推薦書によって評価する。また、論理的な思考力、日本語による高度な表現能力及び英語に関する素養を有していることを、小論文、口述試験・面接によって評価する。

マテリアル工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、マテリアル工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、調査書、推薦書によって評価する。また、修学に必要な基礎的な知識を有していることを、大学入学共通テスト、口述試験・面接によって評価する。

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科に必要な素養および基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト、口述試験・面接、小論文、調査書等により総合的に評価する。特に、大学入学共通テストでは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測り、小論文を含む出願書類および口述試験・面接では、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測る。

農学部

求める学生像

今日、人類は国内外の様々な課題、すなわち、エネルギー、環境、食料、健康などに関する諸問題に直面している。農学は生物の機能と生命現象の解明や応用に加えて、自然環境、自然現象の理解、また、それらの調和と持続的な利用など多岐にわたる学問分野を内包しており、人類が抱えている諸問題解決への貢献が期待されている。そこで、農学部では広範な農学に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、農学部では次のような学生を求めている。

- 1 農学について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 幅広い興味を持ち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、各学科が求める能力や適性を持つ学生を選抜する。

応用生物科学科

応用生物科学科は、生物の多様な潜在能力を明らかにし、その成果を人類の生活に役立てるための幅広い教育を行う。このような教育を通して、生物科学を活用できる専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、応用生物科学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物科学を持続可能な社会の構築へ役立てることに対する明確な目的意識を持ち、その学びのための基礎的知識を持っている人
 - 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
 - 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、健全な社会の発展に貢献したいと考えている人
- 以上にに基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。
- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
 - 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
 - 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
 - 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
 - 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

生命機能化学科

生命機能化学科は、化学を基盤とした生命現象の解明と生物資源の利用に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、生命機能化学科では次のような学生を求めている。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジーについて学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、そのための基礎的知識を持っている人
 - 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
 - 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、社会の持続的発展に貢献したいと考えている人
- 以上にに基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。
- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
 - 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
 - 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
 - 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
 - 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

緑地環境科学科

緑地環境科学科は、生命の基盤となる農地や自然地、生活の基盤となる都市の緑地について、その保全・創成に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、緑地環境の保全と創成についての専門的知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、緑地環境科学科では次のような学生を求めている。

- 1 緑地環境の保全と創成について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
 - 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
 - 3 幅広い興味をもち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人
- 以上にに基づき、次の1～5の能力や適性をもつ学生を選抜する。
- 1 物理、化学、生物のいずれかについて深く学び、高い学力を有すること
 - 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
 - 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容の発表のための英語や国語の基礎学力を身に付けていること
 - 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
 - 5 自ら進んで学ぶための主体性を有し、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する能力と学内外の社会的な活動に参加しうる多様性・協働性を備えていること

入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

応用生物科学科／生命機能化学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト及び調査書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、大学入学共通テストの数学によって評価する。英語や国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）と国語によって評価する。思考力・判断力及び表現力を有していることを、志望理由書によって評価する。様々な課題について他者と協働的に取り組む姿勢と、高い探求心及び勉学意欲を備えていることを、調査書及び活動報告書で評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト及び調査書によって評価する。物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科によって評価する。数学の基礎学力を有していることを、

大学入学共通テストの数学によって評価する。英語及び国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）と国語によって評価する。論理的な思考力、判断力及び表現力を有していることを、個別学力検査の小論文によって評価する。学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を有していることを、調査書、活動報告書、面接によって評価する。

獣医学部

求める学生像

本学部は、本教育課程を卒業するためには、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学と臨床獣医学の各科目群の習得を課すと共に、加えて獣医師としての実践能力と動物生命科学者としての研究能力を醸成させる教育を行う。このような教育を通して、単なる動物の専門家たる獣医師ではなく、動物生命科学の専門性を有しつつも、国際社会が抱える人文科学分野、生命科学分野の諸問題の解決能力を有する人材の育成を目指す。

したがって、本学部・学科では、次のような学生を求める。

1 動物に対する先端医療、人間と動物の共生、国内及び国際的に問題となっている感染症、及び安全な食料の安定供給について学ぶことに対し明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人

2 生物学、科学全般に幅広い興味を持ち、論理的な思考力・判断力・表現力と自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、次の1～3の能力や適性をもつ学生を選抜する。

1 大学入学共通テストを課すことによって、高等学校教育において習得すべき科目の内容を広く学習し、高い基礎学力を有していることを確認する。

2 個別学力検査によって、数学、英語、生物学、物理学、化学に関する思考力・判断力・表現力を確認する。

3 特別選抜では、調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書、英語4技能試験成績証明書、面接、小論文等により、獣医師としての適性、論理的な思考力、科学全般への幅広い興味や自ら進んで学ぶ探求心、さらに多様な人々と協働して学ぶ態度や国際的な視野を持っているかを確認する。

入学者選抜の基本方針

学生の選抜方法は一般選抜の前期日程に加えて4種類の特別選抜を用意し、多様な人材の受け入れを目指す。一般選抜前期日程では高い基礎学力と論理的な思考力・判断力・表現力を有する学生を求める。特別選抜の学校推薦型選抜では、前述の基礎学力等に加えて、獣医学への関心と学習意欲が高く、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志を持つ学生を受け入れる。帰国生徒・私費外国人留学生特別選抜では海外での学習経験を有し、国際的な視野を持つ学生を受け入れる。特別選抜の産業動物獣医師地域枠では、卒業後に産業動物獣医師に就業する意志が明確な学生を求める。なお、私費外国人留学生特別選抜では日本留学試験の成績提出を課すことで、十分な日本語能力を有することを評価した上で選抜する。

医学部

求める学生像

リハビリテーション学科

人が地域社会において健康で文化的な生活を営むためには、身体的、精神的、社会的に良好な状態で生活できることが大切である。ライフステージで生じる子育て、教育、医療、介護等の問題は複雑で多様化している。その中において保健・医療・福祉の領域では、複雑化したシステムと専門分化した知識・技術を根幹にあるべきヒューマニズムと調和、発展させることが求められている。リハビリテーション学科では、理学療法士、作業療法士として、人と社会に対する包括的視野と、人を支援する専門的かつ協働的な実践力を身に付け、地域社会及び国際社会において人々の健康と福祉の向上に寄与する人材を養成する。

したがって、リハビリテーション学科では、次のような有能で活力ある学生を求めている。

1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人

2 学問に対する興味と探究心をもち、知識と技術の習得に積極的に取り組む人

3 将来、リハビリテーションを総合的にとらえることのできる理学療法士、作業療法士として、人々の保健・医療・福祉に貢献しようとする熱意をもった人

4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

《理学療法学専攻》

理学療法学は、病気、けが、高齢等によって運動機能が低下した状態にある人々に対し、身体機能を科学的に評価して治療する理論と技術の体系である。理学療法では、相手の立場を思いやる豊かな感性と、高度な問題解決能力が求められる。理学療法学専攻では、身体の構造や機能及び疾病に関する幅広い学問を修得し、リハビリテーション医療や地域医療の最前線に立ち得る高度な専門的能力、総合判断力、研究能力を有した理学療法士を養成する。

したがって、理学療法学専攻では次のような学生を求めている。

1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人

2 身体機能や運動を科学することに強い関心を持ち、知識と技術の習得に積極的に取り組む人

3 将来、理学療法士として、リーダーシップを発揮し、保健、医療、福祉、研究、教育の分野に積極的に貢献しようとする熱意をもった人

4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

また、理学療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能、他者理解とコミュ

コミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、理学療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

《作業療法学専攻》

作業療法学は、乳幼児から高齢者までの身体や精神に障がいのある方々、またはそれが予測される方々の主体的な日常生活能力・社会適応能力の獲得を目的とした治療、指導の理論と技術の体系である。作業療法では、対象者（児）の機能だけでなく、個人の考えや生活環境、社会環境を把握する能力も求められる。作業療法学専攻では、人々の活動と心身機能、環境との関係、脳の働き、発達や老化等の知識に基づく実践技術と研究能力、さらに対象者（児）に寄り添う「こころ」を有し、地域社会の保健、医療、福祉及び教育分野においてリーダーシップを発揮できる作業療法士を養成する。

したがって、作業療法学専攻では次のような学生を求めている。

- 1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
- 2 人々の作業と健康に高い関心をもち、作業療法の知識と技術の習得に積極的に取り組む人
- 3 将来、作業療法士として地域社会の保健、医療、福祉、研究、教育に貢献しようとする熱意をもった人
- 4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

また、作業療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能を有し、他者理解とコミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、作業療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

理学療法学専攻/作業療法学専攻

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い知識・技能を有していることを、大学入学共通テストによって評価する。思考力・判断力・表現力及び主体性・多様性・協働性を有していることを、面接及び調査書、推薦書等によって評価する。

看護学部

求める学生像

本学部の学位授与方針及び教育課程編成や実施方針を踏まえ、人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力を持ち、人の立場を思いやり援助することを志向し、保健医療福祉の発展や持続可能な社会の実現に貢献しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を受け入れるため、次のような学生を求める。

(1) 求める学生像

- 1 論理的・創造的な思考を表現できる基礎学力を有する人
- 2 目的意識をもって積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 3 人々の生活に深い関心を持ち、他者と喜び、苦しみ、痛みを分かち合い、生命の尊厳について理解しようとする熱意を有する人
- 4 人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力を持ち、主体性と協調性をもって他者と協働する姿勢を有する人
- 5 看護の実践をとおして保健医療福祉の向上に寄与する意志を有する人
- 6 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、指導的立場を担う研究教育者や高度看護実践者を目指す意欲を有する人

以上に基づき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

(2) 入学前能力

1 意欲

価値観や思考過程の多様性をみとめながら、協調性をもって主体的に学ぶことができ、看護の実践をとおして、社会に貢献する意欲をもっていること

2 能力

多様な学問分野に支えられている看護に必要な知識や技術を体系的に修得でき、論理的・創造的な思考を表現できる幅広い基礎学力をもっていること

3 志向

人間の喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、生命の尊厳について理解しようとする姿勢をもっていること

(3) 入学後能力

入学前の能力をさらに伸ばし、教育目標に定められた資質を身につける意欲があること

入学者選抜の基本方針

入学者選抜においては、多様な人材を選抜するために一般選抜のほか、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。各選抜においては、意欲、能力、志向を測定するために、学力試験、面接、出願書類等の評価を用いる。

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力を有していることを確認する。高等学校の学校長の推薦を得た者が出願できることとし、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）では、意欲と看護学科での学修に十分対応できる思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、意欲・能力・志向を総合的に評価する。

求める学生像

生活科学部は「健康」「環境」「福祉」を基礎概念とし、生活を取り巻く3分野を研究対象とする食栄養学科、居住環境学科、人間福祉学科の3学科から構成され、分野横断的な教育研究を行う。既知の問題を効率的に解く能力だけでなく、人間生活の多様な側面を新たな視点や感性によって捉え、自ら問題を発見して解決策を見出すことのできる人材の育成を目指す。

したがって、生活科学部では、次のような学生を求めている。

- ・本学部の学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- ・学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- ・自己学習や協働を通して学問を探究し、自らの経歴を形成することができる人

食栄養学科

安全、安心な食環境の創造を通じた健康増進のために、食・栄養学をはじめ、化学、生物、物理、数学、英語などの基礎学力や、根拠に基づくプレゼンテーションや討論の技能を有し、社会や地域の食・栄養問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、食栄養学科では、次のような学生を求めている。

- 1 食・栄養に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して食品栄養科学や栄養生命科学を探究し、自らの経歴を形成することができる人

居住環境学科

新たな居住環境の創造のために、居住環境学をはじめ、科学、技術、工学、数学などの基礎学力や、根拠に基づくデザインやプレゼンテーションの技能を有し、社会や地域の居住環境問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、居住環境学科では、次のような学生を求めている。

- 1 居住環境に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して学問や居住空間のデザインを探究し、自らの経歴を形成することができる人

人間福祉学科

人口構造や社会構造の変化、地域社会の変貌にともなって生起する現代の生活課題を正確に把握し、多様で深刻な個人及び地域の課題に対応できる人材の養成を目指す。

したがって、人間福祉学科では、次のような学生を求めている。

- 1 人間福祉に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意思を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して、人とのかかわり、人を支えることに関心をもち、福祉課題を探究し、自らの経歴を形成することができる人

入学者選抜の基本方針

多様な人材を選抜するために、一般選抜、学校推薦型選抜、学校推薦型選抜（指定校）、国際バカロレア特別選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで示した（知識・理解）、（技能）、（実践的姿勢）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の目標を達成するための基礎が備わっていることを確認するために、次の「学力の3要素」に関する成果に基づいて入学者選抜を行う。学校推薦型選抜（指定校）では前述の基礎学力等に加えて、将来食栄養学分野（研究、実践等）においてリーダーシップを発揮することができる能力を総合的に評価する。

【一般選抜、学校推薦型選抜】

1 知識・技能

大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。

2 思考力・判断力・表現力等の能力

大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。

3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

口述試験や志望理由書等の内容が優れている。

※各学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、本学 Web サイトを参照してください。なお、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、内容が一部変更となる可能性があります。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



〔1〕募集人員

学 部・学 域	学 科・学 類・専 攻	募 集 人 員	受 験 区 分 等
現代システム科学域	知識情報システム学類	10名	文系型5名、理系型5名
	環境社会システム学類	20名	
	教育福祉学類	9名	
	心理学類	5名	
経済学部	経済学科	60名	英語重点型38名、数学重点型22名
商学部	商学科	40名	英語重点型25名、数学重点型15名
	公共経営学科		
理学部	物理学科	7名	
	化学科	12名	
	生物学科	9名	
	地球学科	4名	
	生物化学科	5名	
工学部	機械工学科	3名	
	電子物理工学科	3名	
	応用化学科	3名	
	マテリアル工学科	3名	
	化学バイオ工学科	2名	
農学部	応用生物科学科	10名	
	生命機能化学科	10名	
	緑地環境科学科	10名	
獣医学部	獣医学科	5名	
医学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	8名
		作業療法学専攻	8名
看護学部	看護学科	55名	
生活科学部	食栄養学科	20名	
	居住環境学科	9名	大阪府内枠2名、全国枠7名
	人間福祉学科	15名	大阪府内枠2名、全国枠13名

(注) 総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。ただし、工学部応用化学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科については、一般選抜（中期日程）の募集人員に加えます。

募集方法及び学科等の決定に関する注意事項

1 全学部・学域共通

現代システム科学域は、学類単位で募集します。経済学部、商学部、獣医学部、看護学部は、学部単位で募集します。理学部、工学部、農学部、生活科学部は、学科単位で募集します。医学部リハビリテーション学科は、専攻単位で募集します。

2 商学部

学科への所属は第2年次後期からで、学科の希望調査及び決定は前期に行います。なお、志望者多数の学科では学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。

3 生活科学部

- ・居住環境学科、人間福祉学科については、大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。
- ・人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

〔2〕入学者選抜方法等

1 選抜方法等

- (1) 大学入学共通テスト、小論文、口述試験、面接、出願書類等により総合判定します。

詳細については、学部・学域、学科・学類、専攻により異なりますので、志望する学部・学域等のページ（21～47 ページ）を参照してください。

- (2) 第1次選考について

- ・理学部では、第1次選考を実施します。
- ・工学部機械工学科・電子物理工学科・マテリアル工学科では、志願者数が募集人員の6倍を超えた場合、化学バイオ工学科では、志願者数が募集人員の10倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。
- ・獣医学部では、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。
- ・生活科学部では、第1次選考を実施します。

2 合否判定について

次の者は、合否判定の対象にはなりません。

- ・大学入学共通テストを課す場合、令和9（2027）年度大学入学共通テストで指定した教科・科目を受験しなかった者
- ・個別学力検査等で指定した教科・科目を受験しなかった者

（注）大学入学共通テストを課す場合、令和9（2027）年度大学入学共通テストで学部・学域等が指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は無資格となり個別学力検査等は受験できません。また、成績請求不可の場合も同様に受験できませんので、十分注意してください。

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」及び「理科」において受験科目を1科目としているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が学部・学域等が指定する利用教科・科目でない場合は、無資格となるので注意してください。

〔3〕選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）

学部・学域	学 科 ・ 学 類	選 抜 期 日	試 験 科 目 ・ 時 間 割		試 験 会 場
現代システム科学域	知識情報システム学類	—	試験日に来学する必要はありません		
	環境社会システム学類	2026年11月21日（土）	小論文 9:30～11:30 (120分)	面接 13:00～	中百舌鳥 キャンパス
	教育福祉学類		小論文 9:30～11:00 (90分)	面接 12:30～	
	心理学類		面接 13:00～		
経済学部	経済学科	—	試験日に来学する必要はありません		
商学部	商学科 公共経営学科	—	試験日に来学する必要はありません		
理学部	物理学科	2027年2月7日（日）	小論文 9:30～12:00 (150分)	口述試験 13:30～	杉本 キャンパス
	化学科		口述試験 13:30～		
	生物学科				
	地球学科				
	生物化学科				
工学部	機械工学科	2026年11月21日（土）	小論文 9:30～11:00 (90分)	口述試験・面接 12:30～	中百舌鳥 キャンパス
	電子物理工学科		小論文 9:30～11:00 (90分)	口述試験・面接 13:30～	
	応用化学科		小論文 9:30～11:30 (120分)	口述試験・面接 13:00～	
	マテリアル工学科		口述試験・面接 9:30～		
	化学バイオ工学科		口述試験・面接 9:30～		

学 部	学 科 ・ 専 攻	選 抜 期 日	試 験 科 目 ・ 時 間 割		試 験 会 場
農学部	応用生物科学科	—	試験日に来学する必要はありません		
	生命機能化学科	—	試験日に来学する必要はありません		
	緑地環境科学科	2026 年 11 月 21 日（土）	小論文 11:00～12:00 (60 分)	面接 13:00～	中百舌鳥 キャンパス
獣医学部	獣医学科	2026 年 11 月 21 日（土）	小論文 11:00～12:00 (60 分)	面接 13:00～	中百舌鳥 キャンパス
医学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	2026 年 11 月 28 日（土）	面接（注） 9:30～		森之宮 キャンパス
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻				
看護学部	看護学科	—	試験日に来学する必要はありません		
生活科学部	食栄養学科	2027 年 2 月 7 日（日）	口述試験 13:30～		杉本 キャンパス
	居住環境学科				
	人間福祉学科				

（注）医学部については、試験終了予定時刻が 14:00 を超える場合、試験開始時刻を午後から設定する場合があります。試験開始時刻は受験票に記載していますので各自確認してください。

なお、指定された試験開始時刻の変更はできません。

〔４〕出願手続

学校推薦型選抜の出願手続はインターネット出願により行います。

インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。

1 出願期間

インターネット出願登録開始日時	出願書類の郵送提出期間
2026年10月23日（金）10:00	2026年11月2日（月） ～2026年11月5日（木） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

（注）・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。

- ・出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願する学部・学域等に郵送提出期間内必着で郵送してください（郵送先：59 ページ参照）。
- ・郵送提出期間後に到着したものは受理できませんので十分注意してください。ただし、2026年11月3日（火）以前の発信局（日本国内）の消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。

なお、出願書類が本学に到着したかどうかに関する問合せについては、一切応じませんので各自郵便局等で確認してください。

- ・高等学校等でとりまとめて郵送する必要はありません。

2 出願方法

次の手順で出願を行ってください。



事前準備		
Step1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校・図書館・知人等のパソコン等から出願してください。
	印刷環境	・出願に必要な書類をA4サイズ白の用紙で印刷します。自宅にプリンターがない場合は、学校・図書館・知人・コンビニエンスストア等のプリンターから印刷してください（カラー印刷推奨）。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・学部・学域等の21～47ページ「3 出願書類等」を確認の上、郵送提出期間内に間に合うようあらかじめ用意してください。
	封筒	・出願書類等郵送のために、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）を用意してください。



ポータルサイトにアクセス	
Step 2	・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。 ※ポータルサイトのユーザーIDとしてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時（2027年5月）まで使用できるメールアドレスを登録してください。 https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/inet-apply/ 



出願内容の登録									
Step3	・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録した内容を必ず確認してください。								
▼									
入学検定料等の支払い									
Step4	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(16ページ「4 入学検定料等の支払方法」を参照) ・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要です。 <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>(2)</td> <td>(3)</td> <td>(4)</td> </tr> <tr> <td>クレジットカード</td> <td>コンビニエンスストア</td> <td>ATM(ペイジー)</td> <td>インターネットバンキング</td> </tr> </table>	(1)	(2)	(3)	(4)	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	インターネットバンキング
(1)	(2)	(3)	(4)						
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	インターネットバンキング						
▼									
出願確認票及び宛名ラベルの印刷									
Step5	・A4サイズ白の用紙に印刷してください(カラー印刷推奨)。								
▼									
出願書類の郵送									
Step6	・出願書類を簡易書留郵便(速達可)により郵送してください。(学部・学域等21～47ページ「3 出願書類等」を確認してください。) ・郵送提出期間内(15ページ「1 出願期間」)に出願書類が到着しなければ、出願は受理できませんので注意してください。								

3 受験票・受験上の注意の印刷

出願手続を完了した者には、インターネット出願サイト内にて受験票を発行します。受験票印刷開始日以降にポータルサイトへログインし、インターネット出願サイトより**A4サイズ白の用紙**に各自で**受験票を印刷し、内容を確認してください。また、受験票は試験当日に必ず持参してください。(受験票は郵送しません。)**

受験票印刷開始日以降になっても受験票が印刷できない場合又は受験票の記載事項に誤りがある場合は、必ず58ページ「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

(1) 個別学力検査等を課す学部・学域等

学部・学域等における受験上の注意は、本学 Web サイトに掲載する予定です。受験にあたっては、**受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。**

(2) 個別学力検査等を課さない学部等

個別学力検査等を課さない学部等についても受験票を発行します。必ず受験票を印刷してください。

【受験票印刷開始日】

○現代システム科学域、工学部、農学部、獣医学部、医学部リハビリテーション学科

2026 年 11 月 12 日(木)

○経済学部、商学部、理学部、看護学部、生活科学部

2026 年 12 月 8 日(火)

4 入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 : 30,000 円
- ・支払手数料 : 990 円

支払方法は、以下の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支 払 方 法	取 扱 機 関 等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共用 ATM では使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

5 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続

20 ページ以降〔6〕学部・学域等の選抜方法等 2 出願資格・出願要件等に「令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者」の記載がある選抜を受験する者は出願後、大学入学共通テストの成績請求情報をインターネット出願サイトに登録する必要があります。本学の手続の方式は「Web 方式」です。

(1) 成績請求情報登録期間

2026 年 12 月 4 日（金）10：00～12 月 11 日（金）17：00

(2) 登録方法

- ①成績請求情報登録期間に、本学のポータルサイトにアクセス
- ②「出願登録・出願内容の確認・受験票印刷（専門学科・総合学科、総合型、学校推薦型）」を選択
- ③出願内容確認画面に表示される「出願受付番号：〇〇〇〇 - 〇〇〇〇〇」をクリック
※出願受付欄に「入金済」と表示されていることを確認の上、クリックしてください。
- ④出願状況詳細画面の「共通テスト成績請求登録」のバナーをクリック
- ⑤入力画面に、共通テスト出願サイトのユーザーID（メールアドレス）、パスワード、申込番号を入力の上、「登録」をクリック
※大学入学共通テストを課さない選抜は、上記の手続は不要です。

6 出願についての注意

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜の出願は、1 つの大学、学部・学域等に限られます。
- (2) 学校推薦型選抜出願者は本学を含む国公立大学の一般選抜にも出願することができます。
- (3) 大学入学共通テストを課す場合
出願にあたっては、各学部・学域等が指定する令和 9（2027）年度大学入学共通テストの教科・科目（21～47 ページ）を必ず受験してください。
受験した教科・科目数が不足している場合や、科目選択にかかる注意事項が守られていない場合は、無資格となります。大学入学共通テスト以降に個別学力検査等がある場合は受験できません。
- (4) 「受験区分」の選択について
志望する学部・学域等に応じて、出願登録時に以下のとおり受験区分を選択してください。
 - ・現代システム科学域の知識情報システム学類は、文系型・理系型のどちらかを選択してください。
 - ・経済学部、商学部は、英語重点型・数学重点型のどちらかを選択してください。
 - ・生活科学部の居住環境学科、人間福祉学科は、大阪府内枠・全国枠のどちらかを選択してください。
- (5) 試験は、指定のキャンパス（13～14 ページ）にて受験してください。
- (6) 志願者情報の入力について
 - ・氏名は、大学入学共通テストの出願時に登録したとおりに入力してください。
 - ・住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、58 ページ「入試に関すること」の問合せ先に申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。
- (7) 以下の場合、大学入学共通テストの成績が利用できないため、合否判定を行うことができません。

①成績請求情報登録期間内に登録をしなかった場合

②成績請求情報登録期間内に登録をしたが、共通テスト出願サイトのマイページで成績請求チケットを取り消した場合（ただし、成績請求情報登録期間内に本学に連絡があれば個別に対応します。）成績請求情報の登録後は、無断で共通テスト出願サイトにおいて取消しをしないでください。成績請求情報の登録後に、共通テスト出願サイトのマイページで成績請求チケットを取り消しても本学への出願を取り下げることはいけません。

万が一誤って取り消した場合は、以下の内容を入試課へメールにて連絡してください。

※翌日の正午（土日除く）までに入試課からの返信がない場合は、電話連絡してください。

宛先：gr-nyu-uketuke2@omu.ac.jp

件名：「学校推薦型選抜成績請求チケットの取消しについて」

記載内容： ①出願受付番号、②氏名（漢字・カナ）、③電話番号（日中連絡がつく番号）、④選抜種別及び志望学部・学域、⑤入学検定料支払いの有無

- (8) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。
- (9) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (10) 提出された出願書類は、一切返却しません。ただし、現代システム科学域の英検合格証明及び獣医学部の英検合格証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATEの原本は返却します。
- (11) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。
- (12) 出願書類や志願者情報の入力内容に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、電話やメールの確認不足により不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。
- (13) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。

【返還可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

返還対象者には、出願期間終了後に返還方法等について入試課より連絡します。

大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者や成績請求不可の者に対しては、入学検定料30,000円のうち26,000円を返還します。この返還方法等は、該当者に対して郵送で通知します。

ただし、個別学力検査等実施後に大学入学共通テスト受験科目の不足が判明した場合は、入学検定料返還の対象となりません。

- (14) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2027年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。資格審査はインターネット出願登録開始日の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、58ページ「入試に関すること」の問合せ先（看護学部は杉本キャンパス入試課（06-6605-2141））に申し出てください。

〔5〕受験上・修学上の配慮について

1 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

(1) 相談の方法

次の(3)の問合せ先に連絡の上、本学所定のフォームより申請（原則として医師の診断書等添付）することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

(2) 事前相談及び申請期間

インターネット出願登録開始日の1か月前まで

（注）上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

(3) 受験上の配慮に関する申請先及び問合せ先

出願予定学部・学域等を担当するキャンパスの入試担当

出 願 予 定 学 部 ・ 学 域 等	問 合 せ 先	電 話 番 号
現代システム科学域・工学部・ 農学部・獣医学部・ 医学部リハビリテーション学科	入試課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9202
経済学部・商学部・理学部・ 看護学部・生活科学部	入試課（杉本キャンパス）	06-6605-2141

E-mail：（全学部・学域共通）gr-nyu-ask2@omu.ac.jp

※メールには、受験上の配慮を希望する学部・学域等及び日中連絡がつく電話番号を明記の上、問い合わせてください。

2 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、以下【修学上の配慮に関する問合せ先】に問い合わせてください。

【修学上の配慮に関する問合せ先】

出 願 予 定 学 部 ・ 学 域 等	問 合 せ 先	電 話 番 号	E - m a i l
現代システム科学域・理学部 （生物化学科）・工学部・ 農学部・獣医学部	アクセシビリティ センター （中百舌鳥キャンパス）	072-254-9867	gr-gks-ac@omu.ac.jp
経済学部・商学部・理学部 （生物化学科除く）・ 生活科学部（食栄養学科除く）	アクセシビリティ センター （杉本キャンパス）	06-6605-3650	
医学部リハビリテーション学 科・看護学部・ 生活科学部（食栄養学科）	アクセシビリティ センター （森之宮キャンパス）	06-6167-1018 （「学生相談コー ディネートセン ター」と共用）	

※メールの場合は、アクセシビリティセンターへの相談内容、希望する学部・学域等（現時点の希望で可）を記載して問い合わせてください。

<アクセシビリティセンターWeb サイト>

<https://www.omu.ac.jp/accessibilitycenter/>



〔6〕学部・学域等の選抜方法等

※学校推薦型選抜の詳細については、学部・学域、学科・学類、専攻により異なりますので
志望する学部・学域等のページ（21～47 ページ）を参照してください。

現代システム科学域

1 募集人員（現代システム科学域は、学類単位で募集します。）

学 類	募 集 人 員	受 験 区 分 等
知識情報システム学類	10 名	文系型 5 名、理系型 5 名
環境社会システム学類	20 名	—
教育福祉学類	9 名	—
心理学類	5 名	—

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

知識情報システム学類

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は文系型と理系型を合わせて 2 名以内、その他の高等学校等は文系型と理系型のいずれか 1 名とします。

環境社会システム学類

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上で、かつ「外国語、英語のいずれか 1 教科」及び「国語、地理歴史、公民、理科、数学、理数のいずれか 2 教科」の 3 教科の学習成績の状況の平均が 4.2（5 点満点）以上（小数点第 2 位以下切捨）の者
- ※「数学」「理科」のいずれも履修していない者は、「理数」を 2 教科に数えることができます。
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、学類あたり大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

教育福祉学類

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上の者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、学類あたり大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

心理学類

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上で、かつ「外国語、英語のいずれか 1 教科」及び「国語、地理歴史、公民、理科、数学、理数のいずれか 2 教科」の 3 教科の学習成績の状況の平均が 4.2（5 点満点）以上（小数点第 2 位以下切捨）の者
- ※「数学」「理科」のいずれも履修していない者は、「理数」を 2 教科に数えることができます。
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 - ⑥ 2024 年 4 月以降の「英検、英検 S-CBT」を受験し、2 級以上を満たす者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、学類あたり大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

※出願時までには必ず有効な英検合格証明書を用意してください。有効な合格証明書がなければ、出願できません。

※環境社会システム学類/心理学類の出願資格・出願要件等(1)②について、次のような場合は出願要件を満たさないので注意してください。

(例 1)

3. 各教科の 学習成績の状況	教科	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国 語	共・ 家庭	共・ 情報	全 体 の 学習成績の状況
	学習成績 の状況	4.0	3.8	4.0	4.2	4.0	3.5	5.0	4.2	4.3	4.5	
	教科											4.1
	学習成績 の状況											

- ・「全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上」＝満たす
 - ・「3 教科の学習成績の状況の平均が 4.2（5 点満点）以上」＝満たさない
- 計算式：(外国語 4.2+国語 4.0+数学 4.2) ÷ 3 = 4.133... 小数点第 2 位以下切捨→4.1

(例 2)

3. 各教科の 学習成績の状況	教科	国語	地理 歴史	公民	保健 体育	芸術	英語	共・ 家庭	共・ 情報	理数	探求	全 体 の 学習成績の状況
	学習成績 の状況	3.5	4.0	4.0	5.0	4.3	4.3	4.0	4.2	4.1	5.0	
	教科											4.2
	学習成績 の状況											

- ・「全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上」＝満たす
 - ・「3 教科の学習成績の状況の平均が 4.2（5 点満点）以上」＝満たさない
- 計算式：(英語 4.3+理数 4.1+理数 4.1) ÷ 3 = 4.166... 小数点第 2 位以下切捨→4.1

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶
https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*） ＜環境社会システム学類＞ ＜教育福祉学類＞ ＜心理学類＞	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学域・学類、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し片面又は両面で印刷したものを <u>厳封</u> し提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。 現代社会の諸問題に対する関心を含めて記載してください。なお、現代社会の諸問題に対する関心について書かれていない場合は、合否判定の対象となりません。
(6) 英検合格証明書の原本 ＜心理学類＞	2024 年 4 月以降に受験した英検又は英検 S-CBT の合格証明書の原本。 コピーや Web 上からダウンロードされた成績証明書は認めません。
(7) 英検合格証明書返却用 レターパック ＜心理学類＞	レターパックプラス（赤色、600 円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2 つ折りにしたものを出願書類に同封してください。
(8) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

知識情報システム学類

大学入学共通テスト、出願書類（志望理由書、調査書、出身学校長の推薦書）を総合して判定します。

文系型

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科6科目)	国	国	200
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1(注1)	100
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300
	外	英(注3)	400
	情	情Ⅰ	100
配点合計			1,100

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

理系型

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	200
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300
	理	物、化、生、地学から2	200
	外	英(注3)	300
	情	情Ⅰ	200
配点合計			1,200

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

環境社会システム学類/教育福祉学類

小論文、志望理由書等に基づく面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)を総合して判定します。

大学入学共通テストは課しません。

学 類	個別学力検査等	配 点
環境社会システム学類	小論文	150
	面接	100
	配点合計	250

学 類	個別学力検査等	配 点
教育福祉学類	小論文	200
	面接	100
	配点合計	300

※小論文は、日本語及び英語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力等を問います。

心理学類

大学入学共通テスト、志望理由書等に基づく面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)を総合して判定します。

※英検は出願要件として用います。

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科7科目)	国	国	100	410
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	「物基/化基/生基/地基」、物、化、生、地学から1（注2）	50	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	10	
個別学力検査等	面接		150	150
配点合計				560

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

知識情報システム学類 個別学力検査は課しません。

環境社会システム学類、教育福祉学類、心理学類 2026年11月21日(土)

※合格者発表日時、入学手続については50～53ページを参照してください。

経済学部

1 募集人員（経済学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員	受 験 区 分 等
60 名	英語重点型 38 名、数学重点型 22 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が 3.5（5 点満点）以上の者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶
https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(3) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。A 4 サイズ白の用紙に片面で印刷してください（ホチキス留めは不要）。
(4) 活動報告書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可）。A 4 サイズ白の用紙に片面で印刷してください（ホチキス留めは不要）。 「活動報告書」の作成にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
(5) 活動実績を証明する資料	活動報告書に記入したすべての活動について、活動実績を証明する資料のコピーを提出してください。 「活動実績を証明する資料」の提出にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
活動実績に関する証明書（*）	証明資料がない場合や、あっても必要な情報（志願者の氏名、活動名称、活動時期・期間、活動概要に記入した実績）が不足している場合は、本学所定の様式により出身学校長が作成したものを提出してください。厳封は不要です。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm × 横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書）を総合して判定します。

英語重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名			
教 科	科 目 名		配 点
国	国		200
地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から 1（注 1）		100
数	「数Ⅰ、数 A」と「数Ⅱ、数 B、数 C」		200
外	英（注 3）		300
情	情Ⅰ		50
（5 教科 6 科目）		大学入学共通テストの配点合計	850

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

数学重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教科	科目名	配点
国	国	200
地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100
数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300
外	英（注3）	200
情	情Ⅰ	50
	（5教科6科目）	大学入学共通テストの配点合計
		850

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

個別学力検査等は課しません。 ※合格者発表日時、入学手続については50～53 ページを参照してください。

商学部

1 募集人員（商学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員	受 験 区 分 等
40 名	英語重点型 25 名、数学重点型 15 名

- （注 1）学科への所属は第 2 年次後期からで、学科の希望調査及び決定は前期に行います。なお、志望者多数の学科では学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。
- （注 2）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が 3.5（5 点満点）以上の者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(3) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し A 4 サイズ白の用紙に片面で印刷して <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可、ホチキス等でまとめる必要なし）。 志願者の学業、能力・適性、特別活動、取得資格等について 400 字以内で出身学校長が作成してください。
(4) 活動報告書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可、主な活動の詳細を 1,000 字以内で記入、A 4 サイズ白の用紙に片面印刷、ホチキス等でまとめる必要なし）。 「活動報告書」の作成にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
(5) 活動実績を証明する資料	(4) で記入したすべての活動実績について、その活動を証明する資料のコピーを提出してください。原本は不要です。 「活動実績を証明する資料」の提出にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
活動実績に関する証明書（*）	証明資料が提出できない場合は、本学所定の様式により、出身学校長が作成したものを提出してください。厳封は不要です。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm × 横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書）を総合して判定します。

英語重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教科	科目名	配点
国	国	200
地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100
数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200
外	英（注3）	300
情	情Ⅰ	50
（5教科6科目）		大学入学共通テストの配点合計
		850

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

数学重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教科	科目名	配点
国	国	200
地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100
数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300
外	英（注3）	200
情	情Ⅰ	50
（5教科6科目）		大学入学共通テストの配点合計
		850

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

個別学力検査等は課しません。 ※合格者発表日時、入学手続については50～53ページを参照してください。

理学部

1 募集人員（理学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
物理学科	7 名
化学科	12 名
生物学科	9 名
地球学科	4 名
生物化学科	5 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

物理学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 - ① 高等学校等（注ア）を卒業した者及び 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

化学科/生物学科/地球学科/生物化学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 - ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、各学科とも 2 名以内とします。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。 志願者の学業、能力・適性、特別活動、取得資格及び特技等について客観的にそれらの活動内容の評価等を、また、志望学科に関連する基礎学力について 800 字以内で記入し片面で印刷してください。
(5) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が志望学科をめざす動機、自然科学の分野において特記すべき経験などを記入してください（800 字以内、パソコン等での作成も可、A 4 サイズ白の用紙片面印刷）。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

物理学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、小論文（数学、物理、英語）、口述試験を総合して判定します。

<第1次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	475
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	物と 化、生、地学から1	100	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		50	50
配点合計				525

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

<第2次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	475
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	物と 化、生、地学から1	100	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	小論文 (数「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C」（注5）、 理「物基・物」（注6）、外「英」（注4）)		200	400
	口述試験		200	
	配点合計			

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

・小論文は、数学、物理、英語の基礎学力を問い、口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

化学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

<第1次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (５教科７科目)	国	国	100	580
	数	「数Ⅰ、数Ａ」と「数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ」	100	
	理	物と化	200	
	外	英、独、仏、中、韓から１（注３）	150	
	情	情Ⅰ	30	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				680

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

＜第2次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	100	580
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	物と化	200	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	150	
	情	情Ⅰ	30	
個別学力検査等	口述試験		200	300
	出願書類		100	
配点合計				880

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

生物学科

＜第1次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

＜第2次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

＜第1次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	75	575
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	75	
	理	生と 物、化、地学から1	300	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				675

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

＜第2次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	75	575
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	75	
	理	生と物、化、地学から1	300	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	口述試験		200	300
	出願書類		100	
配点合計				875

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

地球学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

<第1次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	50	625
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	150	
	理	物、化、生、地学から2	200	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	150	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		150	150
配点合計				775

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

<第2次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	50	625
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	150	
	理	物、化、生、地学から2	200	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	150	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	口述試験		250	400
	出願書類		150	
配点合計				1,025

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

生物化学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

<第1次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	975
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300	
	理	物、化、生、地学から2	300	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	200	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		250	250
配点合計				1,225

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

＜第2次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	975
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	300	
	理	物、化、生、地学から2	300	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	200	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	口述試験		300	550
	出願書類		250	
配点合計				1,525

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

・口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

5 選抜期日（第1次選考合格者）

2027年2月7日（日） ※合格者発表日時、入学手続については50～53 ページを参照してください。

工学部

1 募集人員（工学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
機械工学科	3名
電子物理工学科	3名
応用化学科	3名
マテリアル工学科	3名
化学バイオ工学科	2名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。ただし、応用化学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科については、一般選抜（中期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

機械工学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を2027年3月に卒業見込みの者（留学等により、2026年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上で、かつ「数学Ⅲ、物理基礎、物理、化学基礎」を履修している者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、1名とします。

電子物理工学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を2027年3月に卒業見込みの者（留学等により、2026年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上で、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理基礎、物理、化学基礎、化学」を履修している者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は2名以内、その他の高等学校等は1名とします。

応用化学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を2026年3月に卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者（留学等により、2025年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2026年3月以降に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上、「数学及び理科」又は「理数」の学習成績の状況が4.2（5点満点）以上、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理基礎、物理、化学基礎、化学」を履修している者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は2名以内、その他の高等学校等は1名とします。

マテリアル工学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を2027年3月に卒業見込みの者（留学等により、2026年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上で、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理基礎、物理、化学基礎、化学」を履修している者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、2名以内とします。

化学バイオ工学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を2027年3月に卒業見込みの者（留学等により、2026年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2027年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上で、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理基礎、化学基礎、生物基礎、化学、物理又は生物のどちらか」を履修している者
 - ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 令和9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、2名以内とします。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学Webサイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm。上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し片面で印刷して <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書（*） ＜機械工学科＞ ＜電子物理工学科＞ ＜マテリアル工学科＞	本学所定の様式により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可）。
(6) 小論文（*） ＜化学バイオ工学科＞	本学所定の様式により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可）。
(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

機械工学科

大学入学共通テスト、小論文、口述試験・面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

※志願者数が募集人員の6倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第1次選考を実施する場合

＜第1次選考＞

個 別 学 力 検 査 等	配 点
出願書類	200

＜第2次選考＞

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト （6教科8科目）	国	国	140	620
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	60	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	130	
	理	物と化	130	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	140	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	小論文		100	400
	口述試験・面接		100	
	出願書類		200	
配点合計				1,020

- (注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。
 ・ 2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

第 1 次選考を実施しない場合

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	140	620
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	60	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	130	
	理	物と化	130	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	140	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	小論文		100	400
	口述試験・面接		100	
	出願書類		200	
配点合計				1,020

- (注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。
 ・ 2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

電子物理工学科

大学入学共通テスト、小論文、口述試験・面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

※志願者数が募集人員の 6 倍を超えた場合、第 1 次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第 1 次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第 1 次選考を実施する場合

< 第 1 次選考 >

個 別 学 力 検 査 等	配 点
出願書類	100

< 第 2 次選考 >

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	140	620
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	60	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	130	
	理	物、化、生から2	130	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	140	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	小論文		150	400
	口述試験・面接		150	
	出願書類		100	
配点合計				1,020

- (注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。
 ・ 2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

第1次選考を実施しない場合

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国		140	620
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	60	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	130	
	理	物、化、生から2	130	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	140	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	小論文		150	400
	口述試験・面接		150	
	出願書類		100	
配点合計				1,020

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

応用化学科

小論文、口述試験・面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)を総合して判定します。

大学入学共通テストは課しません。

個別学力検査等	配点
小論文	150
口述試験・面接	100
配点合計	250

マテリアル工学科

大学入学共通テスト、口述試験・面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)を総合して判定します。

※志願者数が募集人員の6倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが大学の個別学力検査等を受験することができます。

第1次選考を実施する場合

<第1次選考>

個別学力検査等	配点
出願書類	100

<第2次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	100	420
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	物と化	100	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	口述試験・面接		300	400
	出願書類		100	
配点合計				820

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

第1次選考を実施しない場合

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国	国	100	420
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	物と化	100	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	100	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等	口述試験・面接		300	400
	出願書類		100	
配点合計				820

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

化学バイオ工学科

大学入学共通テスト、口述試験・面接、出願書類（小論文、調査書、出身学校長の推薦書）を総合して判定します。

※志願者数が募集人員の10倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。その場合、出願書類（小論文含む）の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第1次選考を実施する場合

<第1次選考>

個 別 学 力 検 査 等	配 点
小論文（出願時に提出）	100
出願書類	100
配点合計	200

<第2次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト （6教科8科目）	国	国	60	720
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	40	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	理	化と 物、生から1	200	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	200	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等		小論文（出願時に提出）	100	400
		口述試験・面接	200	
		出願書類	100	
配点合計				1,120

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

第1次選考を実施しない場合

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト （6教科8科目）	国	国	60	720
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	40	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	理	化と 物、生から1	200	
	外	英、独、仏、中、韓から1（注3）	200	
	情	情Ⅰ	20	
個別学力検査等		小論文（出願時に提出）	100	400
		口述試験・面接	200	
		出願書類	100	
配点合計				1,120

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

2026年11月21日（土） ※合格者発表日時、入学手続については50～53ページを参照してください。

農学部

1 募集人員（農学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
応用生物科学科	10 名
生命機能化学科	10 名
緑地環境科学科	10 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

応用生物科学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、応用生物科学に対する高い関心と本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

生命機能化学科/緑地環境科学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*） ＜緑地環境科学科＞	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。印刷は片面・両面を問いません。
(5) 志望理由書（*） ＜応用生物科学科＞ ＜生命機能化学科＞	本学所定の様式により、志願者本人が自筆で記入してください。
(6) 活動報告書（*） ＜応用生物科学科＞ ＜生命機能化学科＞ ＜緑地環境科学科＞	本学所定の様式により、志願者本人が自筆で記入してください。
(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

応用生物科学科

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書）を総合して判定します。

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	825
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	理	物、化、生から2	200	
	外	英（注3）	200	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		200	200
配点合計				1,025

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

生命機能化学科

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書)を総合して判定します。

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	850
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	理	物、化、生から2	200	
	外	英（注3）	200	
	情	情Ⅰ	50	
個別学力検査等	出願書類		200	200
配点合計				1,050

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

緑地環境科学科

大学入学共通テスト、小論文、面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書)を総合して判定します。

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	100	750
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	100	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	理	物、化、生、地学から2	200	
	外	英（注3）	100	
	情	情Ⅰ	50	
	個別学力検査等	小論文		
面接		100		
出願書類		100		
配点合計				1,050

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

応用生物科学科、生命機能化学科 個別学力検査は課しません。

緑地環境科学科 2026年11月21日(土)

※合格者発表日時、入学手続については50～53 ページを参照してください。

獣医学部

1 募集人員（獣医学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
5名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 国際的な視野を持ち、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志をもつ者
 - ④ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 - ⑥ 2024 年 4 月以降の「英検、英検 S-CBT」又は「GTEC CBT」を受験し、「英検、英検 S-CBT」の場合は 2 級以上、「GTEC CBT」の場合は 690 点以上を満たす者※
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は 1 名とします。

※出願時までに必ず有効なスコア証明書（英検合格証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATE のいずれか 1 通）を用意してください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶
https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書 類 種 別	注 意 事 項						
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。						
(2) 写真票（＊）	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。						
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。						
(4) 出身学校長の推薦書（＊）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。印刷は片面・両面を問いません。						
(5) 志望理由書（＊）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。						
(6) 活動報告書（＊）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。 Web サイト（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。						
(7) 英検合格証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATE のいずれか 1 通の原本	2024 年 4 月以降に受験した証明書の原本。 コピーや Web 上からダウンロードされた成績証明書は認めません。 【有効なスコア証明書】 <table><tr><td>英検</td><td>☐</td><td>合格証明書</td></tr><tr><td>GTEC</td><td>☐</td><td>OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td></tr></table>	英検	☐	合格証明書	GTEC	☐	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
英検	☐	合格証明書					
GTEC	☐	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE					
(8) スコア証明書返却用レターパック	レターパックプラス（赤色、600 円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2 つ折りにしたものを出願書類に同封してください。						
(9) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。						

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

大学入学共通テスト、小論文、面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書、「英検、英検 S-CBT 又は GTEC CBT」）を総合して判定します。
※志願者数が募集人員の 5 倍を超えた場合、第 1 次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第 1 次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第1次選考を実施する場合

<第1次選考>

個別学力検査等	配点
出願書類	50

<第2次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	40	190
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	20	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	40	
	理	物、化、生、地学から2	40	
	外	英（注3）	40	
	情	情Ⅰ	10	
	個別学力検査等	小論文		
面接		100		
出願書類		50		
配点合計				390

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・面接は100点の配点を設けるとともに、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」でも判定します。面接の結果により、獣医学を修学する上での適性に欠けると判断された場合は合計点にかかわらず不合格とします。

第1次選考を実施しない場合

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	40	190
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	20	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	40	
	理	物、化、生、地学から2	40	
	外	英（注3）	40	
	情	情Ⅰ	10	
	個別学力検査等	小論文		
面接		100		
出願書類		50		
配点合計				390

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・面接は100点の配点を設けるとともに、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」でも判定します。面接の結果により、獣医学を修学する上での適性に欠けると判断された場合は合計点にかかわらず不合格とします。

5 選抜期日

2026年11月21日(土) ※合格者発表日時、入学手続については50～53ページを参照してください。

医学部

1 募集人員（医学部リハビリテーション学科は、専攻単位で募集します。）

専 攻	募 集 人 員
理学療法学専攻	8 名
作業療法学専攻	8 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② リハビリテーション医療に関する知識と技術の修得に熱意をもち、学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は制限なし、その他の高等学校等は専攻あたり 3 名以内とします。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科・専攻、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し両面で印刷して <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が自筆で記入してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

大学入学共通テスト、面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

理学療法学専攻

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト （5 教科 6 科目）	国	国	200	750
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」 } から 1 ※ 「物基/化基/生基」、物、化、生	100	
	理		200	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	外	英（注 3）	200	
	情	情Ⅰ	50	
個別学力検査等	面接 （「個別面接」、「集団面接」、又はその両方で行います。）		300	300
配点合計				1,050

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

- ・ 2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ※「地歴・公民」及び「理科」から 1 科目を選択してください。ただし、「物基/化基/生基/地基」を受験する場合、「地基」は選択できません。
- ※「地歴・公民」及び「理科」を複数（指定数以上）受験した場合は、次のうちから得点の高いものを採用します。
 - (1) 「地歴・公民」の第 1 解答科目
 - (2) 「理科」の第 1 解答科目

作業療法学専攻

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト (4教科5科目)	国	国	200	650
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	200	
	外	英(注3)	200	
	情	情Ⅰ	50	
個別学力検査等	面接 (「個別面接」、「集団面接」、又はその両方で行います。)		300	300
配点合計				950

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

5 選抜期日

2026 年 11 月 28 日 (土) ※合格者発表日時、入学手続については 50～53 ページを参照してください。

看護学部

1 募集人員（看護学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
55 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2027 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2026 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 3 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(3) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し両面で印刷して <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。
(4) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、志願者本人が自筆で記入してください。
(5) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点	計
大学入学共通テスト （6 教科 7 科目）	国	国	100	475
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から 1（注 1）	50	
	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ、数 A」から 1 と 「数Ⅱ、数 B、数 C」	100	
	理※	「物基/化基/生基」、物、化、生から 1（注 2）	100	
	外	英、独、仏、中、韓から 1（注 3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				575

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

※大学入学共通テストの理科で「物基/化基/生基/地基」を受験する場合、「地基」は選択できません。

5 選抜期日

個別学力検査は課しません。 ※合格者発表日時、入学手続については 50～53 ページを参照してください。

生活科学部

1 募集人員（生活科学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員	受 験 区 分 等
食栄養学科	20 名	
居住環境学科	9 名	大阪府内枠 2 名、全国枠 7 名
人間福祉学科	15 名	大阪府内枠 2 名、全国枠 13 名

（注 1）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

（注 2）人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

2 出願資格・出願要件等（注ア）について、49 ページに記載があります。

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

① 次のアとイのいずれかに該当する者

ア 高等学校等（注ア）を 2026 年 3 月に卒業した者及び 2027 年 3 月卒業見込みの者（留学等により、2025 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2026 年 3 月以降に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

イ 2025 年 4 月以降に高等学校等以外の学校を卒業（修了）した者及び 2027 年 3 月卒業（修了）見込みの者で、本学において高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行います。

② 学力だけでなく、人物、能力、資質等において特に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

③ 令和 9（2027）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験する者

④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

(3) 居住環境学科、人間福祉学科の大阪府内枠で出願できるのは、次のいずれかに該当する者です。

① 2025 年 4 月以降に卒業（修了）した者で、志願者又は保護者（注）が 2025 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所（住民票があること）を有するもの

② 2027 年 3 月に卒業（修了）見込みの者で、志願者又は保護者（注）が 2026 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に住所（住民票があること）を有するもの

③ 大阪府内の高等学校等を卒業した者及び卒業見込みの者

(4) 居住環境学科、人間福祉学科の大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

（注） 「保護者」とは子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書（*）	本学所定の様式により、出身学校長が作成し <u>厳封</u> したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。 推薦理由の記載欄はありません（1 枚のみ）。
(5) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。生活科学部本学科を目指す動機や抱負を記入してください（1000 字以上、1200 字以内、日本語、A 4 サイズ白の用紙片面印刷）。
(6) 出願資格確認書（*） ＜居住環境学科＞ ＜人間福祉学科＞	志願者本人が自筆で記入してください。
(7) 住民票等（該当者のみ） ＜居住環境学科＞ ＜人間福祉学科＞ ※大阪府内にある高等学校等を卒業（見込み）の者は不要	「2 出願資格・出願要件等」の(3)①により出願する者は 2025 年 4 月 1 日以前から、「2 出願資格・出願要件等」の(3)②により出願する者は 2026 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪府内に現住所を有することを確認するため、2026 年 10 月 1 日以降に交付を受けた以下のいずれかを提出してください。 【志願者本人が大阪府内に現住所を有する者】 本人の住民票を提出してください。 ※こちらに該当する場合、保護者の住民票等は不要です。 【保護者が大阪府内に現住所を有する者】

	保護者の住民票及び志願者本人の戸籍個人事項証明書を提出してください。 ※「保護者」とは子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。
(8) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦 33.2 cm × 横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

4 選抜方法

食栄養学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

口述試験により判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国	国	50	525
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	150	
	理	物、化、生から2	150	
	外	英（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				625

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

<第2次選考>

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

居住環境学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

口述試験により判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科7科目)	国	国	50	425
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	「物基/化基/生基/地基」、物、化、生、地学から1（注2）	100	
	外	英（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				525

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

<第2次選考>

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

人間福祉学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

＜第2次選考＞

口述試験により判定します。

＜第1次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点	計
大学入学共通テスト (6教科7科目)	国	国	100	425
	地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、 「公、倫」、「公、政・経」、「地総/歴総/公」から1（注1）	50	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	100	
	理	「物基/化基/生基/地基」、物、化、生、地学から1（注2）	50	
	外	英（注3）	100	
	情	情Ⅰ	25	
個別学力検査等	出願書類		100	100
配点合計				525

(注) 表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、48～49 ページに記載があります。

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

＜第2次選考＞

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

5 選抜期日（第1次選考合格者）

2027年2月7日（日） ※合格者発表日時、入学手続については50～53 ページを参照してください。

教科・科目名の表記及び注意事項等について（特別選抜）

1 大学入学共通テストの利用教科・科目名は次のように略しています。

<教科名>

国語 → 国、地理歴史 → 地歴、数学 → 数、理科 → 理、外国語 → 外、情報 → 情

<科目名>

本学では「地理歴史」、「公民」を合わせて1教科として取り扱います。

『国語』 → 国

『地理総合、地理探究』 → 「地総、地探」、『歴史総合、日本史探究』 → 「歴総、日探」、

『歴史総合、世界史探究』 → 「歴総、世探」、『公共、倫理』 → 「公、倫」、

『公共、政治・経済』 → 「公、政・経」、『地理総合／歴史総合／公共』 → 「地総／歴総／公」

『数学Ⅰ』 → 数Ⅰ、『数学Ⅰ，数学A』 → 「数Ⅰ、数A」、

『数学Ⅱ』 → 数Ⅱ、『数学Ⅱ，数学B，数学C』 → 「数Ⅱ、数B、数C」、

『数学Ⅲ』 → 数Ⅲ、『数学A』 → 数A、『数学B』 → 数B、『数学C』 → 数C

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 → 「物基／化基／生基／地基」

（学部・学域等が指定する出題範囲に「地学基礎」が含まれない場合、「物基／化基／生基」と記載）

『物理』 → 物、『化学』 → 化、『生物』 → 生、『地学』 → 地学

『英語』 → 英、『ドイツ語』 → 独、『フランス語』 → 仏、『中国語』 → 中、『韓国語』 → 韓

『情報Ⅰ』 → 情Ⅰ

◎個別学力検査の出題教科・科目名は、上記と同様に略すほか、次のように略しています。

「物理基礎」 → 物基、「化学基礎」 → 化基、「生物基礎」 → 生基、「地学基礎」 → 地基

2 大学入学共通テストの利用方法については、次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】

国語のみを指定 → 国

地歴・公民から1科目を選択 → 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、

「公、倫」、「公、政・経」、「地総／歴総／公」から1

「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2科目を選択 → 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」

理科から2科目を選択 → 「物基／化基／生基／地基」、物、化、生、地学から2

理科2科目のうち物理を指定、残り1科目を選択 → 物と

化、生、地学から1

英語のみを指定 → 英

3 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」の選択科目について

「地理歴史・公民」では、『歴史総合、世界史探究』と『歴史総合、日本史探究』は「歴史総合」が重なっていても組み合わせで選択できますが、それ以外の同じ科目名が含まれる組み合わせは選択できません。ただし、『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同じ科目名以外の組み合わせは選択することができます。

『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から、そのうち2つを選択解答します。

4 教科・科目欄の注意事項について

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注1）「地理歴史・公民」、「理科」において、受験科目（学部・学域によって科目を指定）を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲（学部・学域によって出題範囲を指定）から、そのうち2つを選択解答します。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうち2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注3）「外国語」の『英語』については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点

として、各学部・学域等の配点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、各学部・学域等の配点に換算します。
英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を各学部・学域等の配点に換算します。

【個別学力検査等】欄

(注4) 英語

英語は[英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ]を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

(注5) 数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C)

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

(注6) 物理

物理は「物理基礎及び物理」の全範囲からの出題とします。

【出願要件等】欄

(注ア) 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)
- ・学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関

ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの(2027年3月31日までに18歳に達するものを含む。)」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。

〔7〕合格者発表

合格者の受験番号を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/



1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）

学 部 ・ 学 科	発 表 日 時	W e b サ イ ト 掲 載 期 間
理学部 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科	2027 年 2 月 5 日 (金) 17:00	2027 年 2 月 5 日 (金) 17:00 ～2027 年 2 月 7 日 (日) 17:00
工学部 機械工学科 電子物理工学科 マテリアル工学科 化学バイオ工学科	2026 年 11 月 13 日 (金) 10:00	2026 年 11 月 13 日 (金) 10:00 ～2026 年 11 月 21 日 (土) 17:00
獣医学部 獣医学科		
生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科	2027 年 2 月 5 日 (金) 17:00	2027 年 2 月 5 日 (金) 17:00 ～2027 年 2 月 7 日 (日) 17:00

（注）第1次選考の可否については、郵送での通知はありません。また、電話等による可否の問合せには一切応じません。

2 第2次選考・最終選考合格者発表について

学部・学域・学科等	発表日時	Web サイト掲載期間
現代システム科学域 知識情報システム学類 心理学類	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00 ～2027 年 2 月 15 日 (月) 17:00
現代システム科学域 環境社会システム学類 教育福祉学類	2026 年 12 月 4 日 (金) 10:00	2026 年 12 月 4 日 (金) 10:00 ～2026 年 12 月 10 日 (木) 17:00
経済学部 経済学科	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00 ～2027 年 2 月 15 日 (月) 17:00
商学部 商学科 公共経営学科		
理学部 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科		
工学部 機械工学科 電子物理工学科 マテリアル工学科 化学バイオ工学科		
工学部 応用化学科	2026 年 12 月 4 日 (金) 10:00	2026 年 12 月 4 日 (金) 10:00 ～2026 年 12 月 10 日 (木) 17:00
農学部 応用生物科学科 生命機能化学科 緑地環境科学科	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00	2027 年 2 月 9 日 (火) 10:00 ～2027 年 2 月 15 日 (月) 17:00
獣医学部 獣医学科		
医学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻		
看護学部 看護学科		
生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科		

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

3 合格通知書及び入学手続案内

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続案内を郵送します。なお、不合格者への通知は行いません。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続案内が入学手続サイト登録期間最終日の前日までに到着しなかった場合は、58 ページ「入学手続に関すること」の問合せ先に申し出てください。郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続期間以降の入学手続は一切認めません。

〔8〕入学手続

1 入学手続について

入学手続案内の説明に従って、下表の期間にポータルサイトより手続してください。**入学手続は入学手続サイトからの手続と提出書類の郵送の両方が必要となります。**詳細については、別途合格者に案内します。

学部・学域・学科等	入学手続サイト登録期間	提出書類郵送期間 【簡易書留（速達可）】
現代システム科学域 環境社会システム学類 教育福祉学類	2026 年 12 月 11 日（金）11：00 ～2026 年 12 月 15 日（火）12：00	2026 年 12 月 11 日（金） ～2026 年 12 月 15 日（火）
工学部 応用化学科		
現代システム科学域 知識情報システム学類 心理学類	2027 年 2 月 12 日（金）11：00 ～2027 年 2 月 16 日（火）12：00	2027 年 2 月 12 日（金） ～2027 年 2 月 16 日（火）
経済学部 経済学科		
商学部 商学科 公共経営学科		
理学部 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科		
工学部 機械工学科 電子物理工学科 マテリアル工学科 化学バイオ工学科		
農学部 応用生物科学科 生命機能化学科 緑地環境科学科		
獣医学部 獣医学科		

学部・学科・専攻	入学手続サイト登録期間	提出書類郵送期間 【簡易書留（速達可）】
医学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	2027年2月12日（金）11：00 ～2027年2月16日（火）12：00	2027年2月12日（金） ～2027年2月16日（火）
看護学部 看護学科		
生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科		

（注）入学手続サイト登録時に、入学料の納付が必要となります。支払方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は54ページの入学料を確認してください。

- （1）入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- （2）合格者の入学辞退は認めません。ただし、入学できないやむを得ない特別の事情があるときは、入学手続までに出身学校長から「学校推薦型選抜辞退願」を入試課に提出し、本学の許可を得てください。

なお、やむを得ない特別の事情がなく入学を辞退した場合は、翌年度以降、当該高等学校等からの学校推薦型選抜の出願を受理しない場合があります。

- （3）（2）により入学を辞退した場合を除き、他の国公立大学・本学の学部・学域等の一般選抜（前期・公立大学中期・後期日程）を受験しても合否判定の対象とはなりません。
- （4）本学に入学手続をした者は、それ以後、これを辞退して他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をすることはできません。また、他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をした者は、それを辞退して本学に入学手続をすることはできません。

2 入学許可の取消し

- （1）出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- （2）高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消します。

〔9〕学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料等）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、58ページを参照してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。
 対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2027年4月入学者の場合、2026年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。
 必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類
 ※入学手続サイト登録期間の1か月以内に交付を受けてください。
 詳細は入学手続案内に記載します。

- ・入学料は、入学手続期間内に納付してください。
- ・入学料の他に、支払手数料が必要となります（本人負担）。

支払方法は、以下の3種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続サイト内で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1) クレジットカード ・大阪府民及びその子 6,500 円 ・その他の者 8,500 円	VISA、MasterCard、JCB、 AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) ATM（ペイジー） 1,250 円	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。コンビニ窓口・コンビニの共用ATMでは使えません。
(3) インターネットバンキング 1,250 円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

（注）支払方法(2)(3)について、ペイジーによる払込にかかる手数料や利用可能時間、現金での払込上限金額等については、金融機関ごとに異なる場合がありますので、事前に各金融機関のWebサイト等で確認してください。

※ 支払手数料は取引内容・決済方法により変動します。確定金額は入学手続の際に確認してください。

- ・入学料決済後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。「高等教育の修学支援新制度」「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合も、必ず入学料を納付してください。

入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。（入学後に申請が必要です。）

2 授業料 〔年額〕 535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料等は年額の1/2を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料等の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料等金額及び引落日が異なることがあります。

3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

(3) 獣医学部における負担金

実験機器充実負担金及び実習充実負担金〔年額〕185,000円（入学後に納付）

（注）2年次以降もこれらの費用が必要です。

(4) 医学部・看護学部では、医療施設における実習に備え、医学的対応（各種感染症の抗体検査、予防接種等）が必要です。また、抗体検査、予防接種等にかかる費用は自己負担となります。なお、医学部リハビリテーション学科では、授業及び自己学習に使用する e-learning 教材の利用料も自己負担となります。

(5) 一部の学部・学域・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、各学部・学域のオリエンテーション等でお知らせします。

(6) 個人ノートパソコンの準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めております。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペック（2027年度）は、本学の Web サイトで公開します（2027年2月頃予定）。経済的な事情等によりノートパソコンの準備が困難な方については、1年間の貸与制度を準備しています。

※2026年度入学者向けの必要スペックについては、以下の大学 Web サイトに掲載しています。

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>



〔10〕経済支援制度について

本学には、授業料減免制度（大阪府の授業料無償化等）や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しています。（Web サイトの掲載内容は現時点の内容であり、変更となる可能性があります。）

＜大阪公立大学 経済支援制度＞

https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/



〔11〕個人情報の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切な利用、管理をいたします。

1 個人情報の定義

本学が入学者選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

2 個人情報の利用

(1) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等の FD^{*1}活動、大学運営改善等に向けた IR^{*2}に利用します。（入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）

(2) 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。

(3) データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法

律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

※1 FD : Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組
例) 授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR : Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

〔12〕 その他

1 個人別成績の情報提供について

2027 年度学校推薦型選抜の個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供内容

大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目別得点（配点公表分のみ）

(2) 提供期間

2027 年 5 月 7 日（金）10:00 から 2027 年 6 月 4 日（金）15:00 まで

(3) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(4) 提供方法

以下の URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

成績開示 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/score/



（注）出願した学部・学域等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を 1 つでも受験せず、無資格者となった場合の個人別成績は開示しません。

2 過去問題について

過去の入試問題の詳細については、以下の本学 Web サイトに掲載しています。

特別選抜 過去問題 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/past-eq/



3 注意事項

大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、以下の本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 緊急のお知らせ ▶▶▶

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



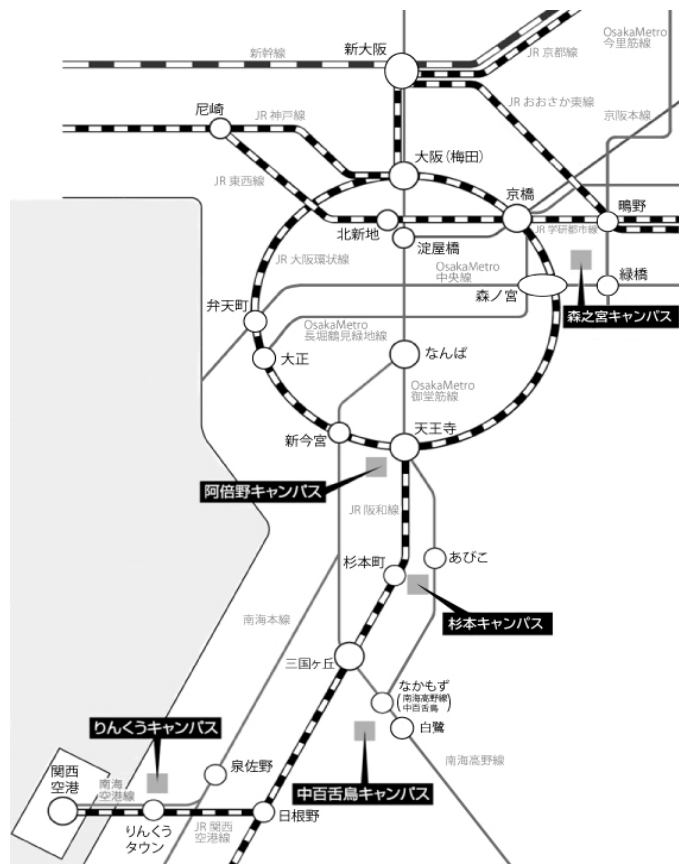
交通アクセス

■阿倍野キャンパス

看護学部学舎 B 棟 〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番 17 号



・JR・Osaka Metro「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩約 10 分



■りんくうキャンパス

〒598-8531 大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の 58



・JR 関西空港線・南海空港線「りんくうタウン駅」下車、3番出口から徒歩約6分

■森之宮キャンパス

〒536-8525 大阪府大阪市城東区森之宮2丁目1番 132 号



・Osaka Metro 中央線・長堀鶴見緑地線、JR 大阪環状線「森ノ宮駅」下車、徒歩約 13 分
 ・Osaka Metro 長堀鶴見緑地線「京橋駅」下車、徒歩約 20 分
 ・JR 大阪環状線・JR 東西線・学研都市線、京阪本線「京橋駅」下車、徒歩約 15 分
 ・Osaka Metro 中央線・今里筋線「緑橋駅」下車、徒歩約 15 分
 ・Osaka Metro 今里筋線、JR おおさか東線・学研都市線「鳴野駅」下車、徒歩約 13 分
 ※JR 大阪環状線「大阪城公園駅」のご利用はご遠慮ください。

■杉本キャンパス

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番 138 号



・JR 阪和線「杉本町駅」下車、東口からすぐ
 ・Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約 15 分

■中百舌鳥キャンパス

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号



・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
 ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約 13 分
 ・Osaka Metro 御堂筋線「なかもつ駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約 13 分

問合せ先・各キャンパス窓口

(注) メールで問い合わせる場合は、志望する学部・学域(学科・学類)も記載してください。

入試に関すること

学 部 ・ 学 域	問 合 せ 先	電 話 番 号	E - m a i l
現代システム科学域 工学部 農学部 獣医学部	入試課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9202	gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
経済学部 商学部 理学部 生活科学部	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141	
医学部リハビリテーション学科	医学部リハビリテーション学科 事務室(森之宮キャンパス)	06-6167-1262	gr-mrny-reha-exam@omu.ac.jp
看護学部	看護学部事務室 (阿倍野キャンパス)	06-6645-3511	gr-nurs-admission@omu.ac.jp

入学科・授業料等に関すること

学 部 ・ 学 域	問 合 せ 先	電 話 番 号	E - m a i l
全学部・学域	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2054	gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp

経済支援制度に関すること

学 部 ・ 学 域	問 合 せ 先	電 話 番 号	E - m a i l
全学部・学域	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2102	gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp

入学手続に関すること

学 部 ・ 学 域	問 合 せ 先	電 話 番 号	E - m a i l
現代システム科学域 工学部 農学部 獣医学部 医学部リハビリテーション学科	入試課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9202	gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
経済学部 商学部 理学部 看護学部 生活科学部	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141	

受付日時：月～金曜日(祝日及び休業日を除く) 9:00～17:00

郵送先

学 部 ・ 学 域 等	郵 送 先
現代システム科学域	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）
工学部	
農学部	
獣医学部	
経済学部	〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪公立大学 入試課（杉本キャンパス）
商学部	
理学部	
生活科学部	
看護学部	〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号 大阪公立大学 看護学部学舎B棟 看護学部事務室（阿倍野キャンパス）
医学部 リハビリテーション学科	〒536-8525 大阪府大阪市城東区森之宮2丁目1番132号 大阪公立大学 医学部リハビリテーション学科事務室（森之宮キャンパス）

Web サイト

最新の情報は、Web サイトから確認してください。

大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



※商学部〈商業科等対象〉、工学部都市学科（地域限定）、医学部医学科（地域限定）の
学校推薦型選抜については、それぞれ別の「学生募集要項」を確認してください。